

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1（「手段」をもとに設定）				指標名：策定計画数				指標の求め方：地球温暖化対策に係る計画数									
成果指標 1（「成果」をもとに設定）				指標名：市の事務事業に伴う二酸化炭素排出量				指標の求め方：燃料・電気使用量から算出									
				第 1 次実施 3 力年計画				第 2 次実施 3 力年計画				第 3 次実施 4 力年計画					第 7 期 総 合 計 画 計 合 計
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第 3 年次 (5年度)	実施 3 力年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第 5 年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施 3 力年 合 計	第 7 年次 (9年度)	第 8 年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施 4 力年 合 計	
事業 評価	指 標	活動指標 1 (単位/策定件数)	計画値	1	0	0		0	0	1		0	0	0	1		
		実績値	1	0	0		0	0									
	成果指標 1 (単位/t)	計画値	11,452	11,336	11,220		11,159	11,043	10,927		10,810	10,694	10,578	10,462			
		実績値	10,427	10,897	10,597		9,910	10,076									
	評 価 内 容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)					達成されている				達成されている						
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)					あまり上がって いない				変わらない						
		事業の効率性 (事業費に対する成果)					変わらない				変わらない						
		総合評価					普通である				普通である						
		総合評価の判断 理由または指標 の実績値に関す る自己分析	自己分析： 成果指標につい て、市立病院を 中心に各施設の 燃料の使用量が 減少したこと により計画値に 比べて実績値は 減少した。今後 も二酸化炭素排 出量の削減に向 けた取り組みを 継続していき たい。	自己分析： 成果指標につい て、計画値に比 べて実績値は下 回ったが、市立 病院のCO2排出 量が増加したこ とが主な原因 で、前年度実績 からは増となっ た。今後も二酸 化炭素排出量の 削減に向けた取 り組みを継続し ていきたい。	自己分析： 成果指標につい て、市立病院を 中心に各施設の 燃料の使用量が 減少したこと により計画値に 比べて実績値は 減少した。今後 も二酸化炭素排 出量の削減に向 けた取り組みを 継続していき たい。	判断理由： 達成度、成果は 指標の動向から 上記のとおり判 断した。効率性 は従前より事業 費がかかってな いため「変わら ない」とした。 これらをトータ ルして、総合評 価は「普通であ る」とした。	自己分析： 成果指標につい て、市立病院を 中心に各施設の 燃料の使用量が 減少したこと により計画値に 比べて実績値は 減少した。今後 も二酸化炭素排 出量の削減に向 けた取り組みを 継続していき たい。	自己分析： 成果指標につい て、市立病院を 中心に各施設の 燃料の使用量が 減少したこと により計画値に 比べて実績値は 減少した。今後 も二酸化炭素排 出量の削減に向 けた取り組みを 継続していき たい。	自己分析： 成果指標につい て、市立病院を 中心に各施設の 燃料の使用量が 減少したこと により計画値に 比べて実績値は 減少した。今後 も二酸化炭素排 出量の削減に向 けた取り組みを 継続していき たい。	判断理由： 達成度、成果は 指標の動向から 上記のとおり判 断した。効率性 は従前より事業 費がかかってな いため「変わら ない」とした。 これらをトータ ルして、総合評 価は「普通であ る」とした。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：		
	今後の方向性						現状のまま継続				現状のまま継続						
方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)			R5： 「第3期 砂川市地球温暖化対策職員行動計画」では、CO2排出量の基準年度を計画期間直前の令和2年度とし、令和7年度を目標年度に設定している。 令和3・4年度のCO2排出量は、計画値を実績値が下回っているが、前年度と比較し実績値は増加している。 改めて職員一人ひとりが環境意識を高め、DXの推進による業務効率化などにより、引き続き市の事務事業に伴って発生するCO2排出量の削減に取り組む。 今後は令和7年度中に策定する予定の次期「砂川市地球温暖化対策推進実行計画」によりCO2排出量の削減に向けた取り組みを進めていきたい。				R8： 「第3期 砂川市地球温暖化対策職員行動計画」では、CO2排出量の基準年度を計画期間直前の令和2年度とし、令和7年度を目標年度に設定しており、令和7年度CO2の排出量は削減目標を達成することができた。 改めて職員一人ひとりが環境意識を高め、DXの推進による業務効率化などにより、引き続き市の事務事業に伴って発生するCO2排出量の削減に取り組む。 今後は令和8年度中に策定する予定の次期「砂川市地球温暖化対策推進実行計画」によりCO2排出量の削減に向けた取り組みを進めていきたい。				R10：						